

後期開始!& 研究室・教員室の引っ越し



新しい実験室(松本研究室)

9月15日より後期が開始しました。ほぼ一月半ぶりの大学ですが、皆元気な顔を見せてくれました。早速、午後からは「バイオ実験Ⅰ」のガイダンスが行われました。「バイオ実験Ⅰ」から本格的に微生物や遺伝子を用いた実験が実施されるため、ガイダンスに引き続き、本学の遺伝子組換え実験安全委員会安全主任者である飯田泰広講師より、安全教育が行われました。

また翌16、17日には、これまで幾つかの建物に分かれて存在していた本学科の研究室および教員室が一斉に応用バイオ科学科棟(C6号館)に引っ越しました。これで、学生実験室、研究室、教員室、事務室が一つの建物に集まり、効率よい運営ができます。学科棟の西側の研究室からは大山が、東側の研究室からは本学のグラウンドそして相模川の河川敷を望むことができます。



研究室から大山を望む

スーパー・サイエンス・ハイスクール研究発表会に岡部教授が参加



高校生に説明する松本学科長

8月9日～10日の2日間、パシフィコ横浜を会場に、文部科学省・科学技術振興機構主催のスーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)全国指定校による生徒研究発表会が開催され、北は北海道から南は沖縄まで、SSHに指定された高校の生徒及び教諭、県の教育委員会関係者が一堂に会しました。岡部勝教授は文部科学省の依頼を受け、これまで実績のあったサイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)事業における高大連携活動(神奈川県立座間高等学校と神奈川工科大学との連携活動内容)を本学科長松本邦男教授、河野隆二理事らとともにブース出展し、SSH指定校の生徒・教諭、文部科学省の関係者に紹介しました。80名を超える来訪者があり、大盛況でした。



左から河野理事、松本学科長、岡部教授、吉澤さん(岡部研4年)、飯田さん(岡部研4年)



神奈川工科大学のブース

応用バイオ科学科と高校自然科学部との合同発表会

9月30日に「第一回神奈川工科大学応用バイオ科学科・高等学校自然科学部合同発表会」をメディアホールにて開催しました。当日は神奈川県内の三つの高等学校から5件の発表があった他、応用バイオ科学科1年生からは大金春奈さんが「高校でのバイオ実験」、鈴木果林さんが「ドクダミに含まれる成分と抗菌性について」と題した発表を行いました。また、飯田泰広講師と澤井淳講師からそれぞれ「固定化酵素を用いた阻害剤のスクリーニング」、「食の安全をバイオの力で～ホタテ貝殻を利用した殺菌技術について～」と題した研究紹介を行いました。高校教員及び高校生からも「植物の組織培養」や「チョウヤトンボの生態」、また上記のSPPの一環として行われた「ミジンコを使ったバイオアッセイ」の研究について大変興味深い発表が行われました。高校生の発表に刺激を受けたためか、予定時刻を大幅にオーバーしても活発な質疑が続きました。発表会後は、第二食堂で懇親会を行い交流を深めるとともに、優秀賞の表彰が松本学科長により行われました。



大金春奈さんの発表



第一回神奈川工科大学応用バイオ科学科・高等学校自然科学部合同発表会



鈴木果林さんへ松本学科長より表彰



懇親会風景

第2回応用バイオ科学科親睦会

去る10月6日に「バイオ実験Ⅰ」の終了後夕方6時から第二食堂で懇親会が開催されました。開会に際して、松本学科長から、「はやいもので諸君らは入学してから半年が過ぎ、大学生活にも慣れてきた頃だと思います。後期からは、微生物学入門、生化学入門、生命科学Ⅱ、有機化学、分析化学といったバイオ技術者にとって重要な基礎科目が始まるのでしっかりと学習して欲しいです。また、勉強だけではなく、このような懇親会なども含めていろいろな機会を通していい「出会い」をつくって欲しいです。」との挨拶がありました。当日は秋雨前線通過のあいにくの悪天候でしたが学生・教職員63名の参加のもと和やかな親睦を深めることができました。早くも次回の懇親会開催の希望の声があがる中、夕方7時半に閉会しました。

